

西小松川町、東小松川一・二丁目地区



まちづくりニュース

第8号 令和4年9月発行

年度内を目標に 意見をまとめていきます！

令和4年度の西小松川町、東小松川一・二丁目地区まちづくり協議会（以下、協議会）では、5月から3回の開催を通じて、道路、公園、居住環境などの課題に対する解決策を検討しました。また、「逃げ地図づくり」のワークショップを行い、災害時の避難について話し合いました。

今後は、まちづくりの方針などの検討を行い、年度内を目標に意見を「まちづくり提言書」として取りまとめていきます。

令和2年度 課題抽出

令和3年度 解決策の検討（防災）

令和4年度

- ・解決策の検討（道路、公園、居住環境など）
- ・逃げ地図づくり
- ・まちづくり方針の検討
- ・アンケート調査
- ・まちづくり提言書の作成

令和5年度 まちづくりに着手

アンケート調査を 予定しています

協議会ではこれまで、まちの課題に対する解決策を検討してきました。

今後、まちづくりに関する意見をまとめていくため、まちづくりの方針や方策についてのアンケート調査を11月に実施する予定です。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

※このお知らせは西小松川町、東小松川一・二丁目にお住まいの方々や権利をお持ちの方々にお配りしています。

江戸川区 都市開発部 まちづくり調整課 まちづくり計画係

TEL 03-5662-6438 (直通) FAX 03-5607-2267

区ホームページでは、より多くの皆さまからご意見をいただくため、「ご意見入力フォーム」を開設しています。過去のまちづくりニュースもご覧いただけますので、併せてご確認ください。



「逃げ地図づくり」を行いました！！

逃げ地図づくりとは、災害時の避難時間を地図上に可視化し、避難のシミュレーションを行うことです。地図を作成する過程で住民同士が防災情報を共有し、具体的な改善策へつなげることを目的としています。

協議会では、逃げ地図の研究をされている明治大学の山本教授にお越しいただき、大規模地震による建物倒壊と延焼からの避難を想定した逃げ地図づくりを行いました。

地域の避難路や危険な場所の確認と併せて、幅員 6m 道路への拡幅整備及び耐火性能が高い建物への更新によるまちの変化を確認しました。



山本教授が逃げ地図の講義をしてくださいました。

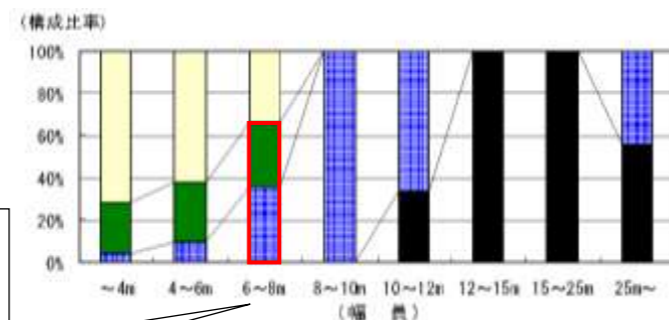


班に分かれ、まちの危険な場所について意見交換を行いながら作成しました。

阪神・淡路大震災における道路の閉塞状況

- 通行不可
- 人通行可
- 車通行可
- 歩道までの倒壊

幅員 6m 以上で、約 7 割の道路が歩行者の通行が可能となります。

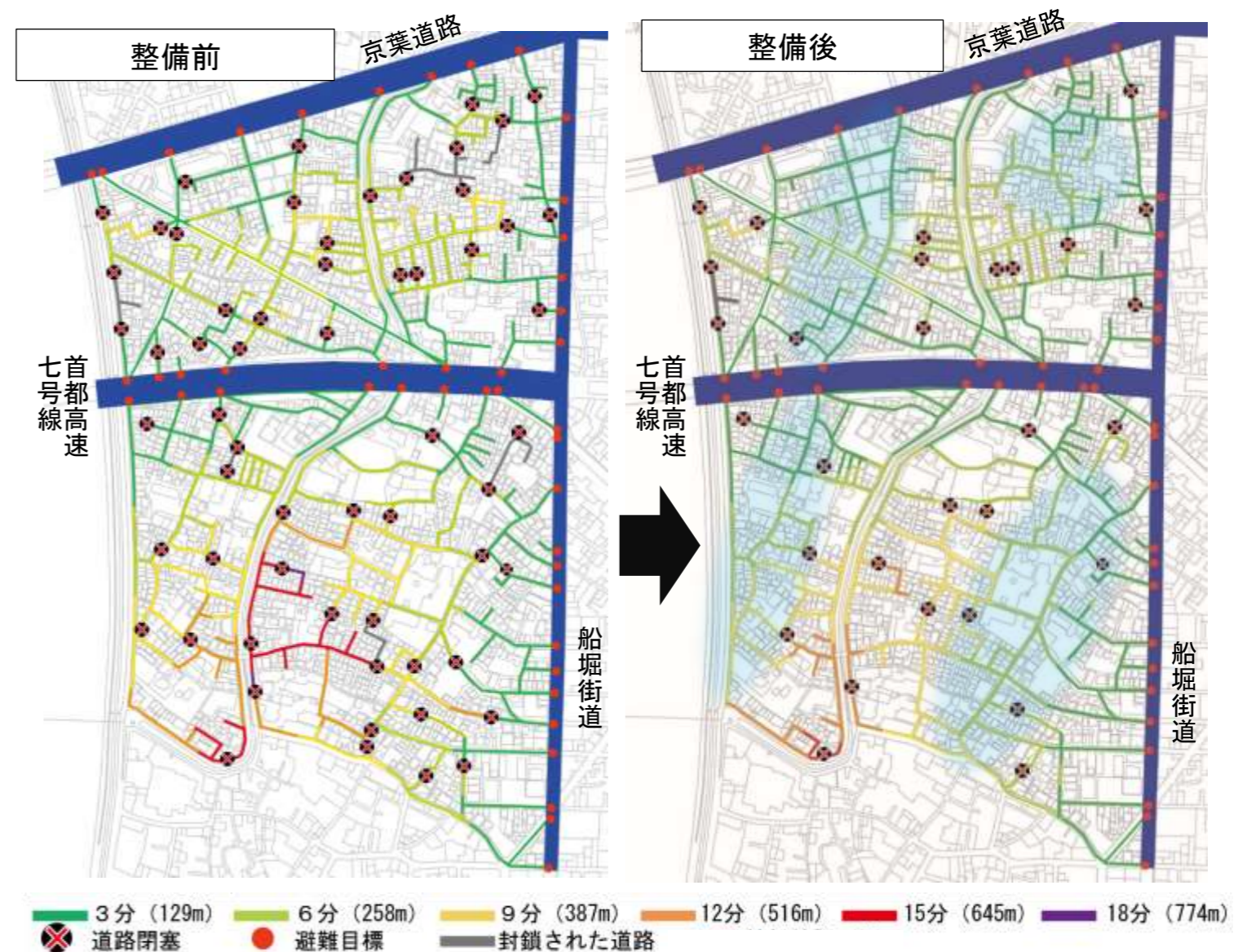


出典：都市防災実務ハンドブック

【検証結果】

- 幹線道路を目標（●）とし、そこまでの避難時間を 3 分ごとに色分けしました。
- 建物や塀などの倒壊、火災により通れなくなる「道路閉塞箇所」（⊗）を、道路の幅員などを参考に、仮に設定しました。この箇所を通らずに、避難時間を検証しました。
- 整備後の「■」は、道路の拡幅整備や、地震・火災に強い建物への更新により、道路閉塞が大きく減少する範囲と想定しました。
- 地区内の多くの箇所で避難時間の短縮が見られました。

※今回の検証は一例であり、道路閉塞箇所などの設定条件により結果は左右されます。



【逃げ地図づくりの際に出た意見】

- ・ 細い通路が多く、災害時に建物や塀が倒れたら通れなくなるので、対策が必要だ。
- ・ 道路が広くなると、安全な避難経路が分かりやすくなる。
- ・ 袋小路が多い。東小松川一丁目広場が通り抜けられると良い。
- ・ 道路の状況により、遠回りする必要が出てくる。
- ・ 避難経路は1つではなく、複数考えておく必要があると感じた。
- ・ 自宅前の道路の避難時間が長く、怖く感じた。
- ・ お年寄りの多い地域で不安である。また、外国人の住人の避難が難しい。
- ・ 今回の検証は、避難路について考えるきっかけとなった。

まちの課題 解決策の検討（抜粋）

道路 の課題

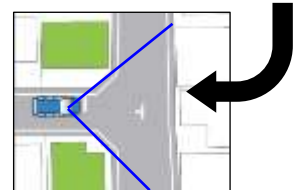
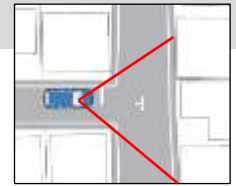
- ・見通しの悪い交差点、見えにくい標識がある。
- ・延長の長い行き止まり道路が点在し、車の誤進入や災害時閉塞の恐れがある。

解決策の例

- ・隅切りを設けるルールを設定する。
- ・看板を設置して警告をしたり、災害時の避難経路を確保できるように建物を配置する。

【協議会での意見】

隅切りをつくることによって安全になり、「住みたいまち」と感じてもらえるようになれば良い。



隅切りのイメージ

公園 の課題

- ・西小松川町の南には、まとまった大きさの公園がない。
- ・アクセスしにくい公園がある。
- ・親水公園は鬱蒼^{うっそう}としており、見通しが悪い。

解決策の例

- ・災害時にも一時的な避難ができる、まとまった大きさの公園を整備したり、既存公園の改修を行う。
- ・ボランティアなどによる公園のメンテナンス活動の維持・推進を図る。

【協議会での意見】

かまどベンチやソーラーパネル等の設備を備えた、広場状の防災性のある公園が必要である。



拡充整備された江戸川一丁目公園

居住環境 の課題

- ・住環境を阻害する高さや用途の建物が立地する恐れがある。
- ・街区によっては土地が細分化されており、建物の密集や老朽化が見られる。
- ・高齢化の進行により空き家が増える心配がある。

解決策の例

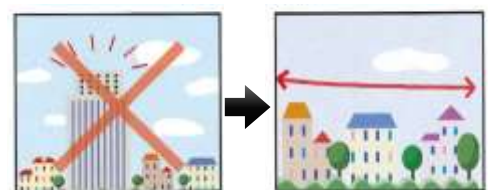
- ・快適な住環境を維持するために、建物の用途や高さ、配置などのルールを設ける。
- ・空き家の除却や建替え、利活用を推進する。

【協議会での意見】

- ・良好な街並みや住環境を確保するために、建物のルールは必要である。
- ・建物が密集している場所は、防災面や景観面で良くないので、対策が必要である。
- ・空き家を活用して、子どもたちが集える場所ができると良い。



用途のルールのイメージ



高さのルールのイメージ